

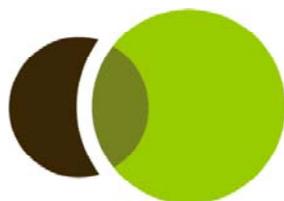
各 位

## 積水ハウス株式会社

### 世界的なSRI評価会社「RobecoSAM(ロベコサム)社」による サステナビリティ格付けで 2年連続「Gold Class」に選定

積水ハウス株式会社(本社:大阪市北区、代表取締役社長:阿部俊則)は、1月19日(木)、世界的なSRI(社会的責任投資)評価会社であり、投資家向けに企業情報を提供するスイスの調査機関「RobecoSAM(ロベコサム)社」によるサステナビリティ評価「RobecoSAM Sustainability Award 2017」のHomeBuilding(住宅建設)部門で最高位の「Gold Class」に2年連続で選定されました。

ロベコサム社は世界の大手企業約3,400社を対象に、60の産業セクターごとに「経済」「環境」「社会」面での取り組みを評価し、そのうち特に優れた企業を「Gold Class」に選定しています。今回「Gold Class」に選定されたのは世界で77社であり、そのうち、日本企業は3社です。



**ROBECOSAM**  
Sustainability Award  
Gold Class 2017

当社は2016年9月、財務面だけではなく、環境面や社会面などからも企業を評価するSRIの代表的な株式指標である“Dow Jones Sustainability Indices(DJSI) World Index”にも選定されました。

MEMBER OF

**Dow Jones**  
**Sustainability Indices**

In Collaboration with RobecoSAM 

財務情報に加え、E(環境)・S(社会)・G(ガバナンス)に代表される非財務情報にも着目したESG投資への注目が集まってきています。

積水ハウスグループは、環境大臣認定の環境先進企業「エコ・ファースト企業」として、戸建住宅や賃貸住宅「シャーマゼン」、分譲マンション「グランドメゾン」、リフォーム・リノベーションなど、住まいにおける環境配慮仕様「グリーンファースト」で、今後もZEH(ネット・ゼロ・エネルギー住宅)化を推進していきます。

同時に、あらゆるステークホルダーとともに、時代の要請に応える新たな価値を創出するCSR活動に取り組み続けることで、さまざまな社会課題を解決し、持続可能な社会の構築を目指してまいります。